

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月11日

上場会社名 **穴吹興産株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 8928 URL <http://www.anabuki.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴吹 忠嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 富岡 徹也 TEL 087-822-3567
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績（平成26年7月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年6月期第1四半期 | 30,753 | 55.3 | 4,786 | 127.8 | 4,688 | 134.9 | 2,854 | 158.5 |
| 26年6月期第1四半期 | 19,797 | 36.5 | 2,101 | 71.5 | 1,995 | 81.3 | 1,104 | 90.3 |

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 2,868百万円 (159.4%) 26年6月期第1四半期 1,105百万円 (87.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年6月期第1四半期 | 53.52 | — |
| 26年6月期第1四半期 | 20.70 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年6月期第1四半期 | 61,226 | 16,223 | 25.9 | 297.72 |
| 26年6月期 | 55,735 | 13,510 | 23.6 | 247.10 |

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 15,879百万円 26年6月期 13,179百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年6月期 | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |
| 27年6月期 | — | — | — | — | — |
| 27年6月期（予想） | — | 2.00 | — | 3.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成26年6月期の第2四半期末配当金の内訳は、普通配当2円、当社設立50周年記念配当1円です。

3. 平成27年6月期の連結業績予想（平成26年7月1日～平成27年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 45,841 | △3.1 | 4,431 | △28.7 | 4,162 | △31.0 | 2,543 | △23.9 | 47.68 |
| 通期 | 69,000 | 0.6 | 2,780 | △41.9 | 2,320 | △47.1 | 1,440 | △41.6 | 27.00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成27年6月期は、消費税率アップを見据え、分譲マンションの通期売上予定戸数1,776戸の内、第2四半期連結累計期間で1,426戸の売上計上を予定しております。その為、上半期に売上が偏重することから、通期よりも第2四半期連結累計期間の利益が上回る事となる予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年6月期1Q | 57,678,000株 | 26年6月期 | 57,678,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年6月期1Q | 4,340,255株 | 26年6月期 | 4,340,255株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 27年6月期1Q | 53,337,745株 | 26年6月期1Q | 53,337,834株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 4. 補足情報 | 10 |
| 販売及び契約の状況 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き政府の経済対策等の効果から企業業績や雇用環境の回復傾向が続いておりますが、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動から、個人消費等の減退傾向も見られました。

このような状況の中で、当社グループは主力である新築分譲マンション事業において、平成27年10月から予定されている消費税率10%への再引上げを見据えて、引き続き販売力の強化により早期完売に注力してまいりました。また、少子高齢化及び人口減少により新築分譲マンション市場の縮小が予想される中で、新たな収益の柱に育てるべく、強化を行っている介護医療関連事業への投資を引き続き積極的に進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は30,753百万円（前年同期比55.3%増）、営業利益4,786百万円（同127.8%増）、経常利益4,688百万円（同134.9%増）、四半期純利益2,854百万円（同158.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更し、「介護医療関連事業」を加えております。

① 不動産関連事業

不動産関連事業におきましては、主力である新築分譲マンションの販売について、前年同期の消費税率引上げ前の駆け込み需要に対して、引上げ後の反動減により、契約戸数は337戸（同44.3%減）と減少しましたが、消費税率引上げに備えて、これまで販売及び建物の引渡し時期を前倒しにて進めてきたことから、売上戸数は1,087戸（同65.4%増）と増加しました。これは、通期での売上予定戸数1,776戸の内、当第1四半期連結累計期間において、既に61.2%を売上計上したことになります。また、通期売上予定戸数1,776戸の内、当第1四半期連結会計期間末における未契約住戸は21戸となっております。

この結果、不動産関連事業の売上高は26,837百万円（同64.9%増）、営業利益は5,293百万円（同159.4%増）となりました。

② 人材サービス関連事業

人材サービス関連事業におきましては、派遣労働者を受け入れる期間の上限撤廃を柱とした派遣制度の変更が近い将来に実施されることを前提に、それを追い風に成長を遂げるべく、強みを有する四国に経営資源を集中し、同地域での売上高・市場シェアの拡大に取り組んでまいりました。

この結果、人材サービス関連事業の売上高は1,566百万円（同0.2%増）、営業利益は42百万円（同735.8%増）となりました。

③ 施設運営事業

施設運営事業におきましては、運営受託施設の増加等により、売上高は1,384百万円（同7.7%増）、営業利益は50百万円（同4.2%増）となりました。

④ 介護医療関連事業

介護医療関連事業におきましては、サービス付き高齢者専用賃貸住宅及び住宅型有料老人ホームの運営に関して、当事業を将来の基幹事業の一つとするべく、開設スピードを早めておりますが、現在、開設後1年を経過した高稼働率の8施設に対して、人材募集等の開設資金や開設前の準備資金等が必要となる開設後1年未満及び今後開設予定の施設が17施設（開設後1年未満7施設、開設予定10施設）あることから、売上高は392百万円、営業損失は559百万円となりました。

なお、当事業については、当第1四半期連結累計期間より、セグメント区分の変更により新たに追加されたことから、前年同期比率はありません。

⑤ その他事業

その他事業におきましては、売上高は572百万円（前年同期比15.2%減）、営業損失は41百万円（前年同期は営業利益6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は40,944百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,113百万円増加いたしました。これは主に有価証券が5,900百万円増加したことによるものであります。固定資産は20,282百万円となり、前連結会計年度末に比べ378百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が451百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、61,226百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,491百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は23,974百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,841百万円増加いたしました。これは主にマンション事業に係る支払手形及び買掛金が5,373百万円増加したことによるものであります。固定負債は21,028百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。これは主に社債が507百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、45,003百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,778百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は16,223百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,712百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益2,854百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は25.9%（前連結会計年度末は23.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年8月12日付「平成26年6月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

連結業績予想の通期の利益が第1四半期連結累計期間及び第2四半期連結累計期間の利益を下回る要因は、上記「(1) 経営成績に関する説明 ① 不動産関連事業」に記載の通り、消費税率引上げに伴う需要の変動に備え、分譲マンションの販売及び建物の引渡し時期を前倒しにてすすめてきたことから、分譲マンションの通期売上予定戸数1,776戸の内、当第1四半期連結累計期間で1,087戸（通期売上予定戸数比61.2%）を売上計上し、また、第2四半期連結累計期間では1,426戸（同80.3%）の売上計上を予定しており、通期に対して第1四半期連結累計期間及び第2四半期連結累計期間に売上が偏重するためです。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,200,177 | 7,631,375 |
| 受取手形及び売掛金 | 967,814 | 1,027,666 |
| 有価証券 | — | 5,900,000 |
| 販売用不動産 | 4,340,545 | 4,728,699 |
| 仕掛販売用不動産 | 23,317,326 | 19,765,329 |
| その他のたな卸資産 | 111,254 | 108,904 |
| 繰延税金資産 | 375,084 | 416,118 |
| その他 | 1,541,905 | 1,390,301 |
| 貸倒引当金 | △22,397 | △23,681 |
| 流動資産合計 | 35,831,708 | 40,944,713 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,746,161 | 9,198,088 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 938,627 | 912,485 |
| 土地 | 6,645,198 | 6,629,789 |
| 建設仮勘定 | 343,837 | 173,059 |
| その他(純額) | 241,423 | 277,837 |
| 有形固定資産合計 | 16,915,248 | 17,191,259 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 265,400 | 244,939 |
| その他 | 132,428 | 179,108 |
| 無形固定資産合計 | 397,829 | 424,047 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 141,020 | 136,400 |
| 繰延税金資産 | 274,529 | 302,582 |
| その他 | 2,188,524 | 2,240,983 |
| 貸倒引当金 | △13,205 | △13,247 |
| 投資その他の資産合計 | 2,590,868 | 2,666,719 |
| 固定資産合計 | 19,903,946 | 20,282,027 |
| 資産合計 | 55,735,655 | 61,226,740 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年6月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,119,765 | 7,493,637 |
| 短期借入金 | 4,198,000 | 3,333,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 674,000 | 1,174,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,969,613 | 2,243,704 |
| 未払法人税等 | 585,622 | 2,092,081 |
| 賞与引当金 | 512,327 | 235,024 |
| 前受金 | 7,454,644 | 5,045,388 |
| その他 | 2,619,622 | 2,357,961 |
| 流動負債合計 | 21,133,595 | 23,974,798 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 8,339,000 | 7,832,000 |
| 長期借入金 | 10,873,305 | 11,130,083 |
| 退職給付に係る負債 | 511,664 | 522,809 |
| 役員退職慰労引当金 | 73,044 | 73,044 |
| 繰延税金負債 | 125,895 | 127,231 |
| その他 | 1,168,990 | 1,343,670 |
| 固定負債合計 | 21,091,899 | 21,028,837 |
| 負債合計 | 42,225,495 | 45,003,636 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 755,794 | 755,794 |
| 資本剰余金 | 821,283 | 821,283 |
| 利益剰余金 | 12,046,058 | 14,745,052 |
| 自己株式 | △444,088 | △444,088 |
| 株主資本合計 | 13,179,048 | 15,878,042 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 753 | 1,430 |
| その他の包括利益累計額合計 | 753 | 1,430 |
| 少数株主持分 | 330,358 | 343,631 |
| 純資産合計 | 13,510,160 | 16,223,104 |
| 負債純資産合計 | 55,735,655 | 61,226,740 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 19,797,373 | 30,753,616 |
| 売上原価 | 14,836,810 | 23,083,866 |
| 売上総利益 | 4,960,562 | 7,669,750 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,859,186 | 2,883,729 |
| 営業利益 | 2,101,376 | 4,786,021 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,600 | 2,824 |
| 受取配当金 | 89 | 180 |
| 持分法による投資利益 | 4,703 | 4,473 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 374 |
| 債務保証損失引当金戻入額 | 742 | 1,863 |
| 償却債権取立益 | 1,723 | 973 |
| その他 | 5,943 | 7,061 |
| 営業外収益合計 | 15,801 | 17,752 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 83,921 | 96,324 |
| その他 | 37,324 | 18,485 |
| 営業外費用合計 | 121,246 | 114,809 |
| 経常利益 | 1,995,931 | 4,688,963 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 197,625 |
| その他 | — | 12,964 |
| 特別利益合計 | — | 210,589 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,288 | 232 |
| 特別損失合計 | 1,288 | 232 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,994,643 | 4,899,320 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 818,881 | 2,099,510 |
| 法人税等調整額 | 70,122 | △68,121 |
| 法人税等合計 | 889,003 | 2,031,388 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,105,639 | 2,867,932 |
| 少数株主利益 | 1,445 | 13,273 |
| 四半期純利益 | 1,104,194 | 2,854,658 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,105,639 | 2,867,932 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 84 | 676 |
| その他の包括利益合計 | 84 | 676 |
| 四半期包括利益 | 1,105,723 | 2,868,608 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,104,278 | 2,855,334 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 1,445 | 13,273 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、あなぶきヘルスケア(株)を連結の範囲に含めております。また、重要性が乏しくなったため、UNO DESIGN STUDIO(株)を連結の範囲から除外しております。

なお、UNO DESIGN STUDIO(株)は、平成26年9月30日付で社名をアルファデザインスタジオ(株)に変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 不動産関連 事業 | 人材サー ビス関連 事業 | 施設運営 事業 | その他事 業 | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|-------------|--------------------|------------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,273,447 | 1,563,875 | 1,285,867 | 674,182 | 19,797,373 | — | 19,797,373 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 63,675 | 6,405 | 8,705 | 183,856 | 262,642 | △262,642 | — |
| 計 | 16,337,123 | 1,570,280 | 1,294,573 | 858,038 | 20,060,016 | △262,642 | 19,797,373 |
| セグメント利益 | 2,040,786 | 5,113 | 48,001 | 6,815 | 2,100,716 | 660 | 2,101,376 |

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 不動産関連 事業 | 人材サー ビス関連 事業 | 施設運営 事業 | 介護医療 関連事業 | その他事 業 | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|--------------------|-------------|--------------------|------------|--------------|-----------|------------|--------------|--------------------------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 26,837,547 | 1,566,330 | 1,384,848 | 392,862 | 572,028 | 30,753,616 | — | 30,753,616 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 71,720 | 7,240 | 12,965 | 367 | 55,452 | 147,746 | △147,746 | — |
| 計 | 26,909,267 | 1,573,571 | 1,397,813 | 393,229 | 627,480 | 30,901,362 | △147,746 | 30,753,616 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 5,293,888 | 42,735 | 50,005 | △559,776 | △41,492 | 4,785,361 | 660 | 4,786,021 |

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、介護医療関連事業の重要性が増したため、報告セグメントを従来の「不動産関連事業」「人材サービス関連事業」「施設運営事業」「その他事業」の4事業区分としておりましたが、「不動産関連事業」「人材サービス関連事業」「施設運営事業」「介護医療関連事業」「その他事業」の5事業区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成すること及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成することは実務上困難なため、当該情報については開示を行っておりません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売及び契約の状況

当第1四半期連結累計期間の販売(売上)実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日) | 前年同四半期比 (%) |
|-----------------|---|-------------|
| 不動産関連事業 (千円) | 26,837,547 | 164.9 |
| 人材サービス関連事業 (千円) | 1,566,330 | 100.2 |
| 施設運営事業 (千円) | 1,384,848 | 107.7 |
| 介護医療関連事業 (千円) | 392,862 | — |
| その他事業 (千円) | 572,028 | 84.8 |
| 合計 (千円) | 30,753,616 | 155.3 |

(注) 1. 本表の金額には、消費税は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。

3. 介護医療関連事業については、当第1四半期連結累計期間より、セグメント区分の変更により新たに追加されたことから、前年同四半期比はありません。

《不動産関連事業》

マンションの分譲事業における地域別契約戸数は、次のとおりであります。

| 地域 | 前第1四半期連結会計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日) | | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日) | |
|-----|---|--------|---|--------|
| | 契約戸数 (戸) | 割合 (%) | 契約戸数 (戸) | 割合 (%) |
| 四国 | 190 | 31.4 | 75 | 22.3 |
| 中国 | 152 | 25.1 | 119 | 35.3 |
| 近畿 | 46 | 7.6 | 36 | 10.7 |
| 九州 | 158 | 26.1 | 80 | 23.7 |
| その他 | 59 | 9.8 | 27 | 8.0 |
| 合計 | 605 | 100.0 | 337 | 100.0 |

《人材サービス関連事業》

人材サービス関連事業の地域別売上高は、次のとおりであります。

| 地域 | 前第1四半期連結会計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日) | | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日) | |
|----|---|--------|---|--------|
| | 売上高 (千円) | 割合 (%) | 売上高 (千円) | 割合 (%) |
| 四国 | 1,118,845 | 71.6 | 1,171,276 | 74.8 |
| 中国 | 145,691 | 9.3 | 123,329 | 7.9 |
| 近畿 | 77,069 | 4.9 | 76,929 | 4.9 |
| 中部 | 41,330 | 2.6 | 67,337 | 4.3 |
| 関東 | 180,938 | 11.6 | 127,457 | 8.1 |
| 合計 | 1,563,875 | 100.0 | 1,566,330 | 100.0 |

《施設運営事業》

施設運営事業の種類別売上高は、次のとおりであります。

| 事業の種類 | 前第1四半期連結会計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日) | | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日) | |
|----------|---|--------|---|--------|
| | 売上高 (千円) | 割合 (%) | 売上高 (千円) | 割合 (%) |
| ホテル事業 | 603,127 | 46.9 | 629,313 | 45.5 |
| 施設運営受託事業 | 632,726 | 49.2 | 712,291 | 51.4 |
| ゴルフ事業 | 50,014 | 3.9 | 43,243 | 3.1 |
| 合計 | 1,285,867 | 100.0 | 1,384,848 | 100.0 |